鹿島市の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書

目　的　・　趣　旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和３１年法律第１６２号）第２６条の規定により教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていくために実施していくものである。

令和４年９月

鹿島市教育委員会

目　次

10款. 教育費

（1項）教育総務費

P1・・・スクールカウンセラー事業

P2・・・スクールソーシャルワーカー活用事業、鹿島市日韓子ども交流事業、外国青年招致事業

P3・・・特別支援学校等通学対策事業、特別支援教育支援員事業、学校生活支援員事業
金管バンド指導支援員活用事業、コミュニティ・スクール推進事業

P4・・・補充学習等支援事業、スクール・サポート・スタッフ配置事業、ICT 支援事業
学力向上対策事業

P5・・・学力向上サポーター活用事業、児童生徒自立支援事業、教育支援事業
原子力・エネルギー教育支援事業

（2項・3項）小学校費・中学校費

P6・・・教材等備品整備事業、感染症対策等の学校教育活動継続支援事業

P7・・・部活動指導員活用研究事業、児童奨励対策事業・生徒奨励対策事業、就学援助事業
遠距離通学児童生徒対策事業

P8・・・一人ひとりを伸ばす教育推進事業

P9・・・小中学校施設整備事業

P10・・・小中学校情報教育施設整備事業

P11・・・小学校大規模改造整備事業、鹿島小・西部中・東部中学校楽器整備事業

（4項）社会教育費

P12・・・社会教育振興

P13・・・少年教育

P14・・・青少年対策、成人式

P15・・・65歳盛年の集い、芸術文化振興事業、男女共同参画社会づくり事業

P16・・・出前講座、放課後子どもプラン

P17・・・公民館一般経常

P18・・・生涯学習センター一般経常

P19・・・市民図書館一般経常

P20・・・社会同和教育事業

P21・・・文化財保護事業、鹿島城赤門及び大手門管理事業

（5項）保健体育費

P22・・・スポーツ推進事業

P23・・・市立学校体育施設開放事業、スポーツ組織等の強化育成事業、第78回国民スポーツ大会・
全国障害者スポーツ大会推進事業

P24・・・体育施設管理事業

P25・・・学校給食運営事業

１０款.　教育費

※ 教育費については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に規定する報告書を兼ねます。

令和３年度鹿島市学校教育方針に基づき、児童生徒が未来の創り手として主体的に生きるために、確かな学力・豊かな心・健やかな体の三つの要素（生きる力）について、調和の取れた育成を図った。また、学校・家庭・地域のつながりと信頼関係を強め、児童生徒が個性と能力を発揮できる教育を推進した。また、教職員の資質向上及び教育環境の整備・充実に努めた。

令和３年度鹿島市社会教育方針に基づき、学び、楽しみ、交流する生涯学習のまちづくりのために、社会教育あるいはスポーツ・文化・ボランティア活動などを通じて、多様化する現代社会を生きていくうえで必要な知識、楽しみや生きがいを見出すために、いつでも、どこでも、何でも学べる環境づくりに取り組むなど、生涯学習の基盤整備や各種施策の積極的な推進を図った。

１０款.　教育費　（１項）教育総務費

新しい時代を生きる豊かな人間性や基礎・基本を身につけさせ、自ら個性を発揮し未来を切り拓く力の育成を図るために、児童生徒の実態を踏まえ、一人ひとりの能力を伸ばすための各種施策を展開した。

令和３年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、創意工夫をしながら事業を行った。教育相談に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響で制約の多い学校生活を強いられている児童生徒の状況を鑑み、カウンセリング時間を増やし、相談体制をより充実させた。また、国際理解教育の一環として、韓国の大西（テソ）初等学校との交流を継続して実施してきたが、令和３年度もオンラインによる相互交流を行い、学校、家庭、地域が連携して子どもたちを育むための各種事業を推進した。

これまでの特別支援教育支援員、学校生活支援員、小学校英語教育支援員やＩＣＴ支援員に加えて、新型コロナウイルス感染症対策としてスクール・サポート・スタッフを昨年度より継続して配置し、児童生徒の学びの保障と小中学校のサポート体制の充実を図った。

○教育総務費の主な事業　　令和3年度　鹿島市決算（資料）

<table>
<tr><td rowspan="2">事業名</td><td colspan="3" rowspan="2">スクールカウンセラー事業</td><td>所管課</td><td colspan="3">教育委員会　教育総務課　学校教育係</td></tr>
<tr><td>費　目</td><td colspan="3">事務局費</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td rowspan="2">3,266</td><td rowspan="2">財源</td><td>国</td><td>県</td><td>市債（借入金）</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td>1,380</td><td>625</td><td></td><td></td><td>1,261</td></tr>
<tr><td>事業内容</td><td colspan="7">教育相談に関して専門的な知識・経験を有する者をカウンセラーとして配置し、学校におけるカウンセリング機能の充実を図り、悩みや心配事のある子どもたちやその保護者、教職員に対して、助言や指導を行うことができた。また、新型コロナウイルス感染症の影響で制約の多い学校生活を強いられている状況を鑑み、カウンセリング時間を増やし、相談体制をより充実させた。
小中学校9校兼務　3人配置</td></tr>
</table>

事業名	スクールソーシャルワーカー活用事業			所管課	教育委員会　教育総務課　学校教育係		
				費　目	事務局費		
事業費（千円）	421	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
							421
事業内容	学校だけでは解決できない問題に対しスクールソーシャルワーカーを配置し、問題を抱える児童生徒の課題解決に向けた支援を行った。子どもたちが気軽に相談できる体制を整え、様々な悩みに対し助言を行い、学校・家庭・関係機関との連携を図った。 中学校2校兼務　小学校7校兼務　2人配置						

事業名	鹿島市日韓子ども交流事業			所管課	教育委員会　教育総務課　学校教育係		
				費　目	事務局費		
事業費（千円）	57	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
							57

事業内容

国際交流事業の一環として、韓国高興郡大西（テソ）初等学校と北鹿島小学校の児童の交流を通じて国際理解教育の推進を図った。

相互に訪問形式で行ってきた事業であるが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度に引き続き、オンライン交流を10月、11月、12月に実施した。4年生、5年生、6年生が1回ずつ行い、それぞれ自己紹介をした後、互いの国の遊びを紹介したり、歌を歌ったりして交流を図った。訪問形式では限られた人数の交流となるが、オンライン交流では4、5、6年生全員が交流に参加することができるというメリットがあった。それぞれの国の風習を教え合うことで、似ている部分、異なっている部分を学び、手紙のやり取りでは韓国語を書くことにも挑戦しながら友好を深めた。

また、3年生以下の児童についても学年に応じた韓国語講座を実施し、韓国語の童謡や遊びに触れ、交流事業に興味・関心を持つことができた。

〈北鹿島小学校〉

4年生26人・5年生29人・6年生24人

○日韓小学校友好オンライン交流

事業名	外国青年招致事業			所管課	教育委員会　教育総務課　学校教育係		
				費　目	事務局費		
事業費（千円）	9,322	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
						410	8,912
事業内容	中学校の英語教育の充実を図るとともに、小学校の英語活動への派遣、地域レベルでの国際交流の進展を図った。小中学生時にネイティブスピーカーによる指導を受けることは、外国語をより身近なものとし、語学習得、国際理解への意欲を増進させることにつながった。 外国語指導助手　西部中学校・東部中学校各1人配置						

事業名	特別支援学校等通学対策事業			所管課	教育委員会　教育総務課　学校教育係		
				費　目	事務局費		
事業費（千円）	51	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
							51
事業内容	特別支援学校の生徒が寄宿舎から帰省する際の交通費の補助を行い、生徒及び保護者の移動に伴う経済的負担を軽減することができた。 寄宿舎利用生徒数　2人						

事業名	特別支援教育支援員事業			所管課	教育委員会　教育総務課　学校教育係		
				費　目	事務局費		
事業費（千円）	17,662	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
						10,000	7,662
事業内容	軽度発達障害など教育上特別の支援を必要とする児童生徒に対して、学習上又は生活上の困難を克服するための教育を行うため、市内全小中学校に12人の支援員を配置した。 市内小中学校に1～2人ずつ配置し、きめ細かに個別対応することができ、学習効果を高めることができた。						

事業名	学校生活支援員事業			所管課	教育委員会　教育総務課　学校教育係		
				費　目	事務局費		
事業費（千円）	8,922	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
						5,000	3,922
事業内容	いじめ・不登校などの問題を抱えた児童・生徒への対応や、学校における子どもたちの生活支援など、学校ごとに異なる様々な事情に対処するため、市内小中学校に10人を配置した。 問題を抱えた児童・生徒に対し、家庭・学校・地域環境への働きかけや児童の心に寄り添いながらの支援は、多くの子どもたちにとって大きな支えになった。						

事業名	金管バンド指導支援員活用事業			所管課	教育委員会　教育総務課　学校教育係		
				費　目	事務局費		
事業費（千円）	247	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
							247
事業内容	適切な指導と教員の負担軽減を図ることを目的に、専門的な指導が必要な吹奏楽（鹿島小学校）に指導支援員1人を配置した。 専門的な指導を行うことで、児童がより高度な技術を身につけることができ、また従来指導に当たっている教員の負担軽減を図ることができた。						

事業名	コミュニティ・スクール推進事業			所管課	教育委員会　教育総務課　学校教育係		
				費　目	事務局費		
事業費（千円）	391	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
						300	91
事業内容	コミュニティ・スクールとは、学校の大きな方針を決める「学校運営協議会」に地域住民や保護者が参加し、地域の意見や知恵を反映した、地域としっかりしたつながりのある開かれた学校である。 明倫小学校と鹿島小学校に加えて、新たに浜小学校と北鹿島小学校に学校運営協議会を設置し、学校運営や教育活動について協議した。 地域人材を活用することで、教育活動がより充実し地域とつながりのある組織になった。また、地域と学校の双方向の交流ができた。						

事業名	補充学習等支援事業			所管課	教育委員会　教育総務課　学校教育係		
				費　目	事務局費		
事業費（千円）	560	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
				336		224	
事業内容	中学校において、学習内容の定着が十分に図れていない生徒のため、地域の人材（退職教職員等の社会人や保護者、教員志望の大学生等）を活用し、補充学習を行った。 放課後に1回あたり1～2時間を確保し、学習支援を行った。地域の教育力を活用することで、学習への意欲づけと自主的な学習習慣を確立し、生徒の基礎的な学力定着を図ることができた。補充学習で理解が深まったことで、授業への取り組みにも意欲が見られるようになった。 登録指導員数：　15人						

事業名	スクール・サポート・スタッフ配置事業			所管課	教育委員会　教育総務課　学校教育係		
				費　目	事務局費		
事業費（千円）	7,946	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
				4,522		2,000	1,424
事業内容	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、教員が一層児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備するため、地域の人材を活用し、学校教育活動の一層の充実及び学校の働き方改革の推進を図ることを目的に、スクール・サポート・スタッフを市内小中学校に9人配置した。 学習内容の定着が不十分な児童生徒や学習態度に落ち着きのない児童生徒に対して、教職員と協同してきめ細やかな支援を行った。						

事業名	ICT支援員事業			所管課	教育委員会　教育総務課　学校教育係		
				費　目	事務局費		
事業費（千円）	4,361	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
						3,000	1,361
事業内容	ICT　支援員を2人配置し、児童生徒の一人一台パソコンを使った授業の支援や教職員からの相談を受け電子黒板、校務用パソコン等の情報機器に関する支援などを行った。具体的な作業としては、 ・リモート授業、行事時の支援 ・校務用パソコン、電子黒板の動作不具合対応 ・学校ホームページ更新支援 ・アプリケーションソフトのインストール支援など						

事業名	（一般管理事業） 学力向上対策事業			所管課	教育委員会　教育総務課　学校教育係		
				費　目	事務局費		
事業費（千円）	1,650	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
							1,650
事業内容	指導方法の工夫改善、児童生徒の活用力を育むための授業改善を図った。学力検査等に関する分析を行い、成果や課題、取組等を共通理解し、全職員が一丸となって学力向上対策に取り組むことができるようにした。 ○研究授業						

事業名	学力向上サポーター活用事業			所管課	教育委員会　教育総務課　学校教育係		
				費　目	事務局費		
事業費（千円）	1,020	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
						1,000	20
事業内容	小学校において学習内容の定着が十分に図れていない児童のために、外部指導者（退職教職員等の社会人や地域の方、教員志望の大学生等）による補充学習を放課後や長期休業中に行うことにより、基礎学力の定着、学習への意欲づけと学習習慣の確立を図った。 登録指導員数：25人　　放課後　404時間　　長期休業中　106時間						

事業名	児童生徒自立支援事業			所管課	教育委員会　教育総務課　学校教育係		
				費　目	事務局費		
事業費（千円）	4,816	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
				861		1,500	2,455
事業内容	学校適応指導教室「さくら」及び「さくら別室」（西部中学校内）において、心理的、情緒的理由により登校できない状態にある児童生徒に対して、個別指導や小集団での指導を行った。生徒が心のゆとりをもてるような環境を提供し、自立を促しながら集団生活に適応する力を育み、学校・学級への早期復帰を目指して支援を行った。 個別指導により、児童生徒の心が安定し、表情が豊かになるなど成果が見られた。 学校適応指導教室「さくら」　　指導員　１人　　補助指導員１人 「さくら別室」支援員　１人						

事業名	教育支援事業			所管課	教育委員会　教育総務課　学校教育係		
				費　目	事務局費		
事業費（千円）	308	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
							308

事業内容

早期からの教育相談を実施し、就学支援について情報提供・助言を行うとともに、「ことば」や、対人関係など困難な状況にある児童生徒に対して、通級による個々の発達の状態や特性に応じた指導を行った。

個に応じた学習やきめ細やかな指導を行い、学習上、生活上の困難を改善することができた。

【通級指導教室の設置状況】

鹿島小学校　（言語）	35 人
〃　　（LD/ADHD等）	18 人
古枝小学校　（LD/ADHD等）	20 人
浜 小 学 校　（LD/ADHD等）	20 人
明倫小学校　（LD/ADHD等）	25 人
西部中学校　（LD/ADHD等）	21 人
東部中学校　（LD/ADHD等）	21 人

（※　LD：学習障がい、ADHD：注意欠陥多動性障がい　）

【特別支援学級の設置状況】

小学校　２２学級　９１人在籍
中学校　　６学級　２２人在籍

教育支援委員会委員　２０人
就学相談会相談員　　１０人

事業名	原子力・エネルギー教育支援事業			所管課	教育委員会　教育総務課　学校教育係		
				費　目	事務局費		
事業費（千円）	178	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
				178			
事業内容	原子力を含めたエネルギーや放射線に関する授業を支援する事業。 理科の授業で使用する「電気の利用実験ボード」「電気の利用プログラミング実験セット」を購入し、実際に実験を行ったことで、エネルギーに関する興味・関心が高まり、理解を深めることができた。						

１０款.　教育費　（２項・３項）小学校費・中学校費

次世代を担うたくましい児童生徒の育成のために、その基盤となる学力の向上及び心の教育の充実に向けての施策を展開した。

福祉・環境・情報教育を推進し、現代社会に対応できる人材育成のための各種施策や総合的な学習の時間などを利用して自ら学び考える力を伸ばし「生きる力」を育成する施策を推進した。

ふるさと人材育成支援基金を活用した郷土の人材を育成するための施策や各種営繕を含めた学校施設の整備、校内 LAN 機器整備や電子黒板整備によるICT（情報通信技術）教育の推進など、安全で快適な教育環境づくりのための各種施策を展開した。

○小学校費・中学校費の主な事業

令和3年度　鹿島市決算（資料）

<table>
<tr><td rowspan="2">事業名</td><td colspan="3">（小学校一般管理事業・中学校一般管理事業）
教材等備品整備事業</td><td>所管課</td><td colspan="3">教育委員会　教育総務課　施設整備係</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td><td>費　目</td><td colspan="3">学校管理費</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td rowspan="2">15,655</td><td rowspan="2">財源</td><td>国</td><td>県</td><td>市債（借入金）</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>1,685</td><td>13,970</td></tr>
<tr><td>事業内容</td><td colspan="7">教育環境の整備充実のため、小・中学校の各種備品の整備を行った。
○備品整備状況（新型コロナウイルス感染症対策用備品、楽器等整備は除く。）　（単位：円）
<table>
<tr><td colspan="2">区　分</td><td>小学校</td><td>中学校</td><td>計</td></tr>
<tr><td>1</td><td>教材備品</td><td>2,398,550</td><td>1,253,700</td><td>3,652,250</td></tr>
<tr><td>2</td><td>一般備品</td><td>6,172,399</td><td>2,501,554</td><td>8,673,953</td></tr>
<tr><td>3</td><td>図書備品</td><td>2,233,279</td><td>1,095,477</td><td>3,328,756</td></tr>
<tr><td colspan="2">計</td><td>10,804,228</td><td>4,850,731</td><td>15,654,959</td></tr>
</table>
学校事務の共同実施による備品の共同購入を行い、効率的な予算の執行を行った。
小中学校の校舎に備え付けの AED を更新した。
基金（寄附金）を活用し、浜小学校、東部中学校の備品充実を図った。
基金（光武文庫）を活用し、小学校図書の充実を図った。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">事業名</td><td colspan="3">感染症対策等の学校教育活動継続
支援事業【繰越明許費分含む】</td><td>所管課</td><td colspan="3">教育委員会　教育総務課　学校教育係</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td><td>費　目</td><td colspan="3">学校管理費</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td rowspan="2">10,804</td><td rowspan="2">財源</td><td>国</td><td>県</td><td>市債（借入金）</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td>10,791</td><td></td><td></td><td></td><td>13</td></tr>
<tr><td>事業内容</td><td colspan="7">コロナ禍の学校において、各学校が感染症対策の強化を図り、児童生徒の学習保障をするための取組を実施するにあたり、各学校長の判断で迅速かつ柔軟に対応することができるよう、学校の規模に応じた必要な経費を支援した。
【学校で購入等を行った主なもの】
・感染症対策保健衛生用品（非接触型体温計、消毒液、抗原検査キット、水道蛇口レバーなど）
・換気対策（壁掛け扇風機、サーキュレーター、空気清浄機、CO2 マネージャーなど）
・学習保障（一人一台パソコン用ケース、リモート授業用機器、修学旅行時バス費用など）</td></tr>
</table>

事業名	部活動指導員活用研究事業			所管課	教育委員会　教育総務課　学校教育係		
				費　目	学校管理費		
事業費（千円）	1,237	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
				820			417
事業内容	西部中学校に2人、東部中学校に2人の部活動指導員を配置し、部活動顧問教員の負担軽減と生徒の多様なニーズに対応した指導体制の充実を図ることができた。また、顧問と指導員が連携して指導をすることにより、生徒との信頼関係を築くことができ、生徒が安全・安心な環境の中で活動することができた。						

事業名	児童奨励対策事業・生徒奨励対策事業			所管課	教育委員会　教育総務課　学校教育係		
				費　目	教育振興費		
事業費（千円）	3,262	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
						3,262	
事業内容	中学校の生徒及び教職員が、学校教育振興に関する諸活動（学術、研究、体育、スポーツ活動等を含む）のため、九州大会に市の代表として出場する場合の参加経費について、補助金を交付した。大会の参加経費を補助することにより、生徒及び教職員の経済的負担を軽減するとともに、学校教育諸活動の振興に寄与することができた。 小学校　大会出場なし 中学校　3,261,600 円　（九州大会：ソフトボール、ソフトテニス、硬式テニス、陸上、バレーボール）						

事業名	（教育振興費） 就学援助事業			所管課	教育委員会　教育総務課　学校教育係		
				費　目	教育振興費		
事業費（千円）	12,275	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
			454				11,821

事業内容

経済的理由により、就学困難な児童生徒の保護者に対し、学用品費等の支給（要保護・準要保護就学援助費）を行った。

小学校	76 人（うち要保護 1 人）	5,225,735 円
中学校	41 人（うち要保護 2 人）	4,071,396 円

特別支援学級に通学する児童生徒の保護者に対し、学用品費等の支給（特別支援教育就学奨励費）を行った。

小学校	70 人	2,124,313 円
中学校	18 人	853,739 円

保護者の経済的負担を軽減し、義務教育の円滑な運営を図ることができた。

事業名	（教育振興費） 遠距離通学児童生徒対策事業			所管課	教育委員会　教育総務課　学校教育係		
				費　目	教育振興費		
事業費（千円）	1,708	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
							1,708

事業内容

遠距離通学をする児童生徒の保護者に対して、通学方法に応じた補助金を交付した。

小学校	59 人	489,520 円
中学校	43 人	1,134,912 円

能古見小学校浅浦分校廃校に伴い、元浅浦分校区から通学をする小学 1・2 年生の児童の保護者に対して、距離に応じた補助金（特例通学費）を交付した。

小学校	9 人	84,000 円

保護者の経済的負担を軽減し、義務教育の円滑な運営を図ることができた。

事業名	（教育振興費） 一人ひとりを伸ばす教育推進事業			所管課	教育委員会　教育総務課　学校教育係		
				費　目	教育振興費		
事業費 （千円）	4,734	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
						4,620	114

事業内容

米や野菜づくり、校内の環境整備、文化的事業やその他の体験活動を行うことにより、豊かな情操と教養の習得を図った。

鹿島市福祉教育に関する条例に基づき、感性豊かな小中学生の時期に地域においてボランティア活動を行い、地域に貢献する温かい人間性豊かな人への成長を図った。

鹿島市ふるさと人材育成支援基金条例に基づき、小中学生を対象として、活力ある地域づくりのためにふるさとの多様な自然・歴史・伝統文化・産業等を活かした人材育成事業を行った。

・小学校　3,520,000 円

・中学校　1,214,000 円

様々な体験活動によって、思いやりの心や感動する心を育むことができた。苗を植え、収穫する体験を通して、生産の喜びを体験できた。

地域の産業、職人の技術、自然や文化、歴史に触れ、郷土への愛着、ものづくりへの興味・関心を高めることができた。

取組を通して、いろいろな人の立場を思いやって物事を考えることができるようになり、また普段接することの少ない地域の人達とのコミュニケーションを図ることができた。

○野菜づくり

○銅板レリーフ制作

○オンライン交流

○UD講座

事業名	小中学校施設整備事業			所管課	教育委員会　教育総務課　施設整備係		
				費　目	学校管理費		
事業費（千円）	24,164	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
						7,737	16,427

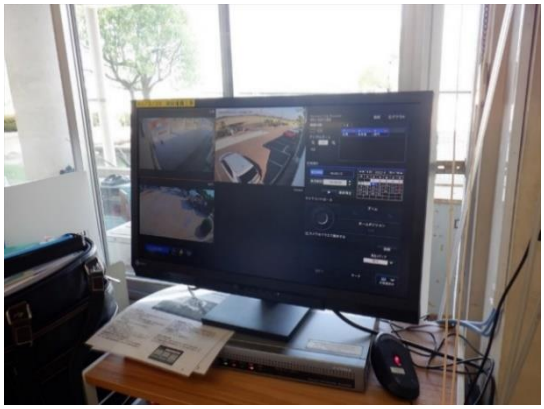
事業内容

各小中学校からの工事要望箇所を確認し、危険性の高い箇所や老朽化が著しい施設の修繕や工事を行った。また、増加した教室に空調設備を整備し教育環境の改善に努めた。

○事業内訳　（単位：円）

	学　校　名	事　業　費	事　業　概　要
1	鹿島小学校	8,019,000	倉庫解体設置、空調設置　ほか
2	能古見小学校	1,555,191	屋外時計取替　ほか
3	古枝小学校	643,153	バックネット撤去　ほか
4	浜小学校	869,330	側溝蓋設置　ほか
5	北鹿島小学校	5,492,300	防犯カメラ設置、空調設置　ほか
6	七浦小学校・音成分校	2,022,273	防球ネット改修　ほか
7	明倫小学校	330,000	大規模改造に伴う校内 LAN 撤去設置　ほか
8	市内小学校	1,380,500	留守番電話装置設置、校舎打診検査
9	西部中学校	2,800,270	屋外トイレ解体　ほか
10	東部中学校	1,051,344	防犯カメラ増設　ほか

○鹿島小学校　倉庫設置工事



○北鹿島小学校　防犯カメラ設置工事

事業名	小中学校情報教育施設整備事業 【繰越明許費分】			所管課	教育委員会　教育総務課　施設整備係		
				費　目	学校管理費		
事業費 （千円）	89,100	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
			89,100				

事業内容

GIGA スクール構想の実現に向けて校内LAN及び充電保管庫を整備した。

○校内LAN整備内容　（単位：円）

項　目	内容	数量	事　業　費
小学校	校内LAN整備室数	187	63, 564, 600
	充電保管庫	62	
中学校	校内LAN整備室数	87	25, 535, 400
	充電保管庫	22	
計	校内LAN整備室数	274	89, 100, 000
	充電保管庫	84	

○無線LANアクセスポイント

○充電保管庫

事業名	小中学校情報教育施設整備事業			所管課	教育委員会　教育総務課　施設整備係		
				費　目	学校管理費		
事業費 （千円）	2,156	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
			2,150				6

事業内容

臨時休業時等における自宅学習に対応するため、モバイルルーターを整備した。

○事業費内訳　（単位：円）

項　　目	台数	事　業　費
小学校費	90	970,200
中学校費	110	1,185,800
計	200	2,156,000

○モバイルルーター

事業名	小学校大規模改造整備事業 【繰越明許費分】			所管課	教育委員会　教育総務課　施設整備係		
				費　目	学校管理費		
事業費 （千円）	256,190	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
			67,332		188,700		158

事業内容

明倫小学校の大規模改造2期工事が完了し、教室棟中央部の教育環境が整った。

○工事概要

工期　令和３年５月 17 日　～　令和３年９月３日
校舎（平成３年1月建/築 31 年）の老朽化による
改修工事

○事業費内訳　（単位：円）

項　　目	事　業　費
大規模改造工事	251,350,000
工事監理業務委託	4,840,000
計	256,190,000

○改修後（明倫小）

事業名	鹿島小・西部中・東部中学校 楽器整備事業			所管課	教育委員会　教育総務課　施設整備係		
				費　目	学校管理費		
事業費 （千円）	1,420	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
						1,420	

事業内容

指定寄附を活用した楽器の購入により、教育環境の充実を図ることができた。

○事業概要

指定寄附を活用し古くなった楽器の買い換え等を行った。

鹿島小 ドラムセット一式
西部中 アルトサクソフォン1本、カスタムクラリネット1本
　　コンサートトムトム4本、ダブルタムスタンド2本
東部中 ホルン1本、トロンボーン1本
　　アルトサクソフォン1本

○事業費内訳　（単位：円）

項　　目	事　業　費
鹿島小学校楽器購入費	113,520
中学校楽器購入費	1,306,250
計	1,419,770

○アルトサクソフォン(西部中)

○ホルン(東部中)

１０款.　教育費　　（４項）社会教育費

市民の誰もが、いつでも・どこでも・楽しく学べ、主体的に活動できるような生涯学習のまちづくりのため、鹿島市生涯学習センター「エイブル」をはじめ、各地区公民館等を拠点に、広く市民への学習機会の提供と環境づくりに努めた。

令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、公共施設の施設利用制限が行われるなど、例年通りの事業実施ができないものがあった。年間を通じてコロナ対応に追われることとなったが、可能な範囲で事業を実施したり、コロナ禍でも実施できる事業を検討したりするなど、模索の一年であった。

なお、新たな取組として、ふるさとの偉人である「田澤義鋪」を紹介する偉人マンガの製作事業に取り組んだ。次年度以降は、田澤義鋪記念館の運営を引き継いだ、(一財)鹿島市民立生涯学習・文化振興財団と連携しながら、マンガの活用を図っていく。

社会同和教育事業においては、人権・同和問題の理解と認識を深めてもらうため、市民への啓発活動や各種学習会を行った。

○社会教育費の主な事業

令和3年度　鹿島市決算（資料）

事業名	社会教育振興（一般経常）			所管課	教育委員会　生涯学習課　社会教育・文化係		
				費　目	社会教育総務費		
事業費（千円）	89,280	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
						500	88,780

事業内容

○田澤義鋪顕彰事業等活性化交付金　1，154千円

青年教育活動の振興・支援のため、(一財)田澤記念館に対し、交付金を交付した。

○「七浦の歴史を歩こう」パンフレット作成　193千円

市内各地区の歴史や文化遺産を紹介するパンフレットを作成し、公民館・小学校等へ配布。ふるさと学習に活用した。

・作成部数500部

○「郷土の光　田澤義鋪」パンフレット作成　284千円

田澤義鋪を紹介する、小学生向けのパンフレットを作成した。

○ 第51回九州ブロック社会教育研究大会・長崎大会

第72回九州地区公民館研究大会・福岡大会

※上記いずれの大会も、新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン参加となり、動画配信等により開催された。

○ 社会教育委員兼公民館運営審議会　85千円

7／1(木)、12／6(月)、3／28(月)　3回開催

○ その他経費(職員給料・社会教育指導員報酬・消耗品費他)　87，564千円

○「七浦の歴史を歩こう」

○「郷土の光　田澤義鋪」

事業名	少年教育			所管課	教育委員会　生涯学習課　社会教育・文化係		
				費　目	社会教育総務費		
事業費（千円）	960	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
							960

事業内容

○ 鹿島市子ども体験塾　770千円

青少年の体験活動に特化した事業を年5回開催。小学生とその保護者を中心に、延べ92名が参加した。

7／25（土）　もっと知りたい！学びたい！祐徳稲荷神社の秘密　20名
11／ 3（祝）　かまぼこ屋さん直伝！佐賀のソウルフード作り　20名（9組）
11／20（土）　秋の経ヶ岳登山　21名　※ラムサール観察隊と合同開催
11／23（祝）　かしま仕事めぐりツアー　14名
12／19（日）　収穫から食べるまで　親子そば打ち体験　17名（8組）

○かまぼこ屋さん直伝！佐賀のソウルフード作り

○秋の経ヶ岳登山

○ 市子ども会連絡協議会体育・文化事業補助金　190千円

子ども会活動や地域行事への参加を通じて、子どもの自主性と豊かな創造性を育み、地域コミュニティの充実を図った。

9／18(土)～　9／30(木)　夏休み作品展　367点（習字265点、図画68点、工作34点）
7／21（水）～10／22（金）　かかし作り　上古枝子どもクラブ（2体）
ジュニアリーダーズクラブの育成他

○かかし作り

○夏休み作品展

事業名	青少年対策			所管課	教育委員会　生涯学習課　社会教育・文化係		
				費　目	社会教育総務費		
事業費（千円）	187	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
							187

事業内容

○ 青少年育成市民会議運営補助金　187千円

地域社会の担い手となる青少年の指導育成や非行防止のため、青少年育成団体、青少年育成指導者及び関係機関等の協力により下記事業等を実施した。

11／26（金）地域環境点検活動（市内コンビニ・カラオケ・スーパーなど 17店舗）

○ 少年の夢発表会

子どもたちが日頃考え、感じていることを広く市民に発表することで、市民の青少年の健全育成に対する理解を深めるために実施した。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度同様、各学校で工夫をこらして行われた発表を、ケーブルテレビで収録、放送する形式をとった。

少年の夢発表者　小学生7人・中学生4人

俳句優秀賞8点　奨励賞36点（俳句応募総数2，929点）

作文・俳句の作品展示（エイブル）　2／8（火）～2／20（月）

○発表収録の様子（古枝小学校）

事業名	成人式			所管課	教育委員会　生涯学習課　社会教育・文化係		
				費　目	社会教育総務費		
事業費（千円）	509	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
			70				439

事業内容

○ 第68回鹿島市成人式　509千円

1／9（日）開催。 新成人273人参加（該当者346人）

会場　生涯学習センター・エイブルホール

新型コロナウイルス感染症の影響により、各種感染防止対策を講じて開催した。（前半・後半に分けて開催、プログラムの時間短縮・省略、成人者のみの参加、屋外受付など）

なお、抗原検査キットを希望者に配布した。

○式典の様子

① 前半 11:00～12:00 【東部中校区】(古枝・浜・七浦)

② 後半 15:00～16:00 【西部中校区】(鹿島・明倫・能古見・北鹿島)

○成人者集合写真

○屋外での受付の様子

事業名	65歳盛年の集い			所管課	教育委員会　生涯学習課　社会教育・文化係		
				費　目	社会教育総務費		
事業費（千円）	0	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
							0
事業内容	新型コロナウイルス感染拡大の影響をうけ、65歳該当者で組織する計画委員会及び実行委員会で検討の結果、中止を決定した。						

事業名	芸術文化振興事業			所管課	教育委員会　生涯学習課　社会教育・文化係		
				費　目	社会教育総務費		
事業費（千円）	5,200	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
						4,600	600

事業内容

○ 鹿島市民文化芸術振興事業補助金　600千円

第53回鹿島市文化祭・・・10／29(金)～11／3(祝)

○ 地域の文化・芸術活動助成事業交付金　1，600千円

一般財団法人地域創造の助成金を活用したコンサート事業を生涯学習センター・エイブルホールで展開した。（事業主体：（一財）鹿島市生涯学習・文化振興財団）

9／26（日）　朗読「セロ弾きのゴーシュ」とミニコンサート※プレイベント

10／17（日）　親子で楽しむ童話音楽「セロ弾きのゴーシュ」

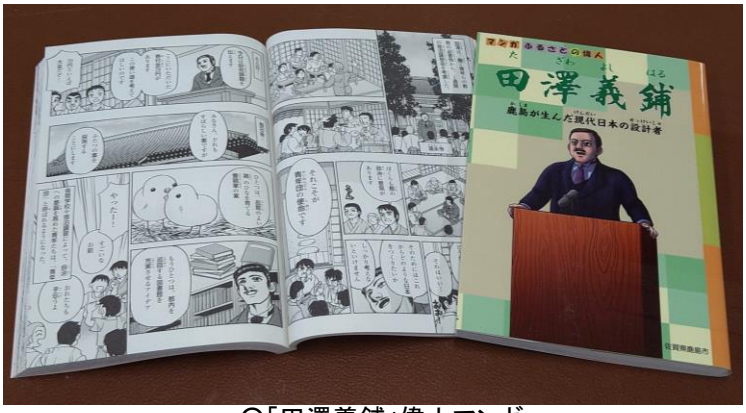
○「田澤義鋪」偉人マンガの製作事業業務委託　3，000千円

B＆G財団の助成を受け、郷土の偉人「田澤義鋪」を題材とした偉人マンガを2，000部製作した。作画は鹿島出身の漫画家に依頼し、本の内容は、専門家等で構成される委員会で検討を行った。（事業主体：（一財）鹿島市生涯学習・文化振興財団）

○ 全国囲碁サミット

9／18（土）に宮崎県日向市にて開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

○「セロ弾きのゴーシュ」チラシ



○「田澤義鋪」偉人マンガ

事業名	男女共同参画社会づくり事業			所管課	教育委員会　生涯学習課　社会教育・文化係		
				費　目	社会教育総務費		
事業費（千円）	200	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
							200
事業内容	○ 鹿島市みんなの集い補助金　200千円 男女共同参画社会づくりに向けた、各団体の活動成果の発表に向け、7回の実行委員会を実施した。 令和3年度は、従来どおりホールに集客しての開催予定で、ポスター・チケット等準備し開催を模索したが、新型コロナウイルス感染拡大の状況が収まらず、中止を決定した						

事業名	出前講座			所管課	教育委員会　生涯学習課　社会教育・文化係		
				費　目	社会教育総務費		
事業費（千円）	25	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
							25

事業内容

○ まちづくり出前講座　25千円

誰もが学べる環境を提供するため、各種団体やサークルへ講師を派遣する出前講座を実施した。

令和3年度は、50のメニューから「高齢者の健康・元気づくり」「リズム体操」「上水道」など65講座を開催し、1，762人が受講した。

コロナ禍の影響は令和2年度より少なかったものの、令和元年度実績との比較では講座数72％、受講者数85％と減少した。

（※令和元年度実績、９０講座　２，０６９人）

（※令和２年度実績、２９講座　　６３９人）

○鹿島の上水道（おいしい水）

事業名	放課後子どもプラン			所管課	教育委員会　生涯学習課　社会教育・文化係		
				費　目	社会教育総務費		
事業費（千円）	505	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
				336			169

事業内容

○ ヒカルの碁鹿島スクール　209千円

6月～3月の第1・3土曜日を中心に、年17回開催。

日本棋院鹿島支部の講師の指導により、小中学生17人、延べ211人が囲碁を楽しみ、あわせて礼儀作法も学んだ。

○ヒカルの碁開講式

○ 地区体育館・エイブル開放事業　221千円

子どもの居場所づくりとして以下の施設を無料開放し、子ども達へ安全な遊び場を提供した。

・臥竜ケ岡体育館　　518人（5月～3月）　※休館日、長期休業を除く平日

・エイブル（開館日）　2，899人

○ 放課後子どもプラン推進事業運営委員会　75千円

市内青少年関係団体による会議を開催。放課後の子どもの安全で安心な活動場所を確保し、放課後対策についての意見交換を行った。（7／15開催）

○その他の取組

試行的な取組として、夏休み期間中の「B&G プールの開放」を開催した。

○B＆G プールの開放

事業名	公民館一般経常			所管課	教育委員会　生涯学習課　社会教育・文化係		
				費　目	公民館費		
事業費（千円）	67,976	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
						837	67,139

事業内容

○ 公民館指定管理委託事業　　59，021千円

平成20年度から地区公民館に指定管理制度を導入。相互の連携を図るため「鹿島市公民館連絡協議会」を随時開催し、公民館事業・経理業務等についての連絡調整を図った。

令和3年度は、指定管理3期目（1期5年）の4年目となり、地区公民館の主体的な事業活動の支援、指導、助言を行い、地域の文化・特色に即した公民館運営を行った。

No.	公　民　館　名	委託料（千円）	委　託　団　体　名
1	鹿島公民館	7，707	鹿島公民館運営協議会
2	能古見公民館・のごみふれあい楽習館	13，648	能古見地区振興会
3	古枝公民館・林業センター	9，123	古枝地区振興会
4	浜公民館・臥竜ヶ岡体育館	9，558	浜町振興会
5	北鹿島公民館	9，120	北鹿島振興協議会
6	七浦公民館・漁村センター	9，865	七浦地区振興会

○ 地区公民館管理事業　　8，955千円

地区住民が多く集まる地区公民館において、安全に安心して地域コミュニティ活動ができるよう公民館施設、設備等の維持、修繕、改修工事並びに備品等の購入を行った。

費　目	金額（千円）	内容
修繕料	1，500	七浦公民館屋外動力盤修繕、浜公民館屋外照明灯修繕、古枝公民館男子トイレ小便器修繕　ほか
工事請負費	4，979	能古見公民館シーリング打替え工事 北鹿島公民館洋式トイレ拡張工事
備品購入費	1，254	自動体外式除細動器（AED）購入
その他	1，222	消耗品費、保険料、負担金　ほか
合　計	8，955	

○ 能古見公民館シーリング打替え工事

能古見公民館及びのごみふれあい楽習館のシーリングがひび割れ、肉やせ、剥離などを起こしており、漏水や建物の劣化が早まる危険性があった。

そのため、劣化したシーリングを撤去し、新しいものに打ち替えることで防水や建物の耐久性を高める工事を行った。

○着工前

○着工後

事業名	生涯学習センター一般経常			所管課	教育委員会　生涯学習課　社会教育・文化係		
				費　目	生涯学習推進費		
事業費（千円）	106,463	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
					12,800	109	93,554

事業内容

生涯学習センターは平成21年度から指定管理者制度を導入している。令和3年度は3期目（1期5年）の3年目となり、生涯学習事業の企画運営と施設管理を委託し、事業の強化と利活用の推進を図った。

また、老朽化が進んでいた、ホールの客席椅子の座面交換工事を実施した。

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、例年より施設利用、利用人数がともに落ち込んではいるが、前年度に比べ持ち直した。

○生涯学習推進費

項　目	決算額(千円)
生涯学習センター指定管理委託料	88，764
ホール客席椅子交換工事	14，289
AED 購入	209
需用費（修繕料）	1，981
公共下水道受益者負担金	1，220
合　計	106，463

○令和3年度生涯学習センター利用状況

施設名	利用者(人)	月あたり(人)
ホール	10，429	869
研修室	8，112	676
その他	8，180	682
合　計	26，721	2，227

年度末のエイブル倶楽部会員は858人（令和3年度末）であった。

主に以下の事業を実施した。

○ えいぶる講座（40講座・28種類）受講者数　延べ　1，146人

「リラックスヨガ教室」「備えあれば憂いなし」「赤十字防災セミナー～自分の命は自分で守る～」「見てわくわく！作って楽しいピクニック弁当教室」「災害石碑をたずねて」「ユースカレッジ」ほか

○ えいぶる事業(8公演) 入場者数　延べ　1，345人

「エイブル祭り」「エイブルアウトリーチ事業～子どもの心をつなぐ打楽器で世界旅行～」「演劇公演・狸の里帰り」「親子で楽しむ音楽童話・セロ弾きのゴーシュ」「ちょっとなつかしの映画上映会」「えいぶるえいがforキッズ・SING上映会」「森麻季ソプラノリサイタル」「ミュージックandサーカス～森の秘密～」

※「第１回かしまこどもフェス」「ゆうやけ子どもクラブ！鹿島上映会」は令和4年度に延期となった

○森麻希ソプラノリサイタル

○ 床の間コーナー展示事業（4回）

鹿島の素晴らしい人物や伝統・文化の紹介展示を行った。

「鹿島錦展～その歴史と継承～」「杉光定作品展」「かしま再発見　～七浦編～」「藤永正人作品展」

鹿島錦展では、鹿島錦保存会や佐賀大学芸術地域デザイン学部・生涯学習課と連携し、ギャラリートークのほか記録映像の視聴、鹿島錦手織りの体験会なども開催した。

○鹿島錦手織り体験

○ えいぶる通信

紙媒体、WEB媒体を両輪とし、新聞やテレビなどのメディアを通じた情報発信に力を入れた。

事業名	市民図書館一般経常			所管課	教育委員会　生涯学習課　社会教育・文化係		
				費　目	図書館費		
事業費（千円）	71,048	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
						900	70,148

事業内容

鹿島市民図書館は平成21年度から指定管理者制度を導入している。令和3年度は3期目（1期5年）の3年目となった。より専門的なスタッフの配置と知識の習得により、多様化・高度化した市民ニーズに対応できる図書館作りに努めている。

前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、開館時には滞在時間や閲覧席を制限するなど対応を行った。また、企画事業も縮小や変更を余儀なくされたものもあり、全体的に利用者や事業参加者は減少している。

また令和3年度は、閉架書庫に保管されている郷土資料などの貴重資料の適切な保存のため、ガス燻蒸作業を実施した。

○図書館費

項　目	決算額(千円)
図書館指定管理委託料	69，413
報酬	75
閉架書庫ガス燻蒸	660
図書資料、備品購入費	900
合　計	71，048

○令和3年度市民図書館利用状況

項　目	総　数	1日平均
入館者数	71，356	261
貸出人数	45，671	167
貸出冊数	227，952	835
開館日数　273日		
蔵書数199，522点（令和3年度末）		

・資料収集及び定期的な蔵書点検と除籍による資料の適切な管理を実施。10／4（月）～8（金）に蔵書点検を実施。
・レファレンス（調べもの相談業務）の受付　308件
・みにみに図書館（巡回図書）・・・市内小中学校・保育園・企業・公民館など最大34か所、3，044冊
・アウトリーチ（出張）貸出・・・子育て支援センター・市内各高齢者施設など
・児童・ヤング・一般・高齢者を対象として、各種企画事業を実施した。
「塗り絵でHAPPY！」「としょかんのフォトスポット」「夏休み展示読書感想文を書こう！」
「おうちで楽しもう！天の川お星さまおはなし会」「理科教師＠おうちでクラフト」
「長野ヒデ子さん講演会」「おはなしとどけ隊」
「としょかんのクリスマス会・人形劇団いちごじゃむがやってくる！」
「冬の特大おはなし会」（中止）
・市内幼稚園・保育園・小学校などからの図書館施設見学（15件）や研修の受入れ（3件）。
・寄附金により図書資料及び備品を購入した。

○空気清浄機
（指定寄附分）

○エプロンシアター
（指定寄附分）

事業名	社会同和教育事業			所管課	教育委員会　生涯学習課　社会教育・文化係		
				費　目	社会同和教育費		
事業費（千円）	2,209	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
				879			1,330

事業内容

○社会同和教育啓発事業

・児童・生徒への人権に関する作文・標語・ポスターの募集と表彰

応募総数4，355点　（作文：1，256点、標語：2，300点、ポスター：799点）

・人権学習会の開催　4回：会場参加者　延べ60人

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、会場参加とケーブルテレビ録画放送視聴による2つの受講方法で学習会を開催した。

・地区別人権・同和問題懇談会

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止

・市報に人権コラム「ひろげよう人権の輪」を毎月掲載

・文化教養講座の開催

教育集会所　　：書道教室（20回：延べ222人）

同和教育集会所：生花教室（20回：延べ116人）

○主要施策

・人権啓発活動の推進

・学校及び社会同和教育の推進

○成　果

学校・地域等における人権作品の取組や学習会、研修会の実施により、人権・同和問題に対する正しい理解と認識を深めてもらうことができた。

【人権ポスター】

○特選（中学生）

○特選（小学生）

【人権標語】

・特選(小学生…下学年)

「おもいやり　目には見えない　金メダル」

・特選(小学生…上学年)

「色ちがい　みんなあつまれ　虹の橋」

・特選(中学生)

「本当に　見たの？聞いたの？　そのうわさ」

事業名	文化財保護事業			所管課	教育委員会　生涯学習課　社会教育・文化係		
				費　目	文化財保護対策費		
事業費（千円）	1,429	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
							1,429

事業内容

○ 文化財説明看板設置　52千円

文化財の保護と活用に向けた取組の一環として、鹿島駅前交差点の田澤記念館の案内看板1か所の新設及び老朽化が著しかった武家屋敷棟門の説明看板を更新した。

○田澤記念館案内看板

○武家屋敷棟門説明看板

○ 市内埋蔵文化財試掘・確認調査（31件）　1，035千円

市内の各種開発行為に先立ち、埋蔵文化財保護のための事前調査を実施。開発と文化財保護の調整を円滑に行った。

○ その他経費　342千円

文化財管理補助(7件)、文化財保護審議会　7／8（木）、3／25（金）

施設維持、各種負担金、旅費ほか

11／23（祝）　第4回佐賀県民俗芸能祭（浅浦の面浮立・松岡神社の獅子舞出演支援）

例年実施している文化財防火デー防火訓練は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

事業名	鹿島城赤門及び大手門管理事業			所管課	教育委員会　生涯学習課　社会教育・文化係		
				費　目	文化財保護対策費		
事業費（千円）	12,716	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
				6,358		1,000	5,358

事業内容

○ 鹿島城赤門続塀保存修理事業　12，716千円

令和3年度に一部再構築した部分を含め、東側続き塀全体の漆喰の塗り替えを行った。

○東側続塀南面

○東側続塀北面

１０款. 教育費　　（５項）保健体育費

保健体育振興事業としては、総合型地域スポーツクラブ「スポーツライフ・鹿島」（会員数483人）で体験教室の実施及びクラブ員交流事業により会員発掘や活動内容の周知を図った。各種スポーツ事業では、SAGA2024国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けた運営準備をさらに進めるため SAGA2024鹿島市実行委員会の第1回総会を開催した。延期となっていた東京2020オリンピック聖火リレーを実施しスポーツに対する関心の広がりを図った。また、体育施設管理事業では、市民武道館等の屋根防水改修や市民球場スコアボード改修を実施した。

○保健体育費の主な事業

令和3年度　鹿島市決算（資料）

事業名	スポーツ推進事業			所管課	教育委員会　生涯学習課　スポーツ係		
				費　目	保健体育総務費		
事業費（千円）	2,898	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
				99		694	2,105

事業内容

市民がスポーツを通して健康増進が図られるように、健康チャレンジ事業や総合型地域スポーツクラブを推進し、気軽にスポーツを楽しめる機会と場所の提供を行った。また、スポーツ合宿誘致事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により2団体の利用となった。東京2020オリンピックの開催に合わせて鹿島市内においてオリンピック聖火リレーを実施した。

【令和３年度スポーツ合宿実績：2 団体】
- ひらまつ病院陸上部　20 人
- 福岡工業大学附属城東高等学校　50 人

○事業内訳

No.	事業名	事業費（千円）	事業概要
1	スポーツ推進委員育成事業（スポーツ推進審議会含む）	1,376	・スポーツ推進委員によるスポーツの振興、指導 ・総合型地域スポーツクラブによるクラブ会員交流大会などの実施
2	各種スポーツ推進事業	1,514	・スポーツ合宿誘致事業の実施（2 団体） ・県民スポーツ大会の協力 ・オリンピック聖火リレーの実施
3	保健体育推進事業	8	・体育施設協会負担金

○スポーツ合宿（城東高校）

○オリンピック聖火リレー

事業名	市立学校体育施設開放事業			所管課	教育委員会　生涯学習課　スポーツ係		
				費　目	保健体育総務費		
事業費（千円）	385	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
						281	104
事業内容	市民に対し、市内の9小・中学校体育館の夜間開放を行い、スポーツ実施機会の提供に努め、スポーツ推進と体育施設の有効利活用を図った。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が約3割減少（令和元年度比）したまま推移している。						

事業名	スポーツ組織等の強化育成事業			所管課	教育委員会　生涯学習課　スポーツ係		
				費　目	保健体育総務費		
事業費（千円）	582	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
						70	512

事業内容

スポーツの普及振興、スポーツ少年団等の育成及び各種競技の技術向上を図るために、大会の開催協力や支援事業を実施した体育協会へ補助を行った。

また、県代表として九州大会へ出場した小学生・中学生（団体）に対し補助金を交付したが、新型コロナウイルス感染症の影響により各種競技大会が開催されていないものもあり減少している。

○事業内訳

No.	事業名	事業費（千円）	事業概要
1	体育協会補助金等	400	市体育協会事業補助金　400 千円
2	全国・九州大会等出場補助金	182	16 件

事業名	第78回国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会推進事業			所管課	教育委員会　生涯学習課　スポーツ係		
				費　目	保健体育総務費		
事業費（千円）	3,460	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
				30			3,430

事業内容

2024（令和 6）年の佐賀大会に向け、鹿島市内をはじめとした関係団体からなるSAGA2024鹿島市実行委員会を組織し、令和4年3月に第1回目となる総会を開催した。また、先催自治体の情報収集、専門部署立上準備、関係競技団体との打合せ等を行うとともに、会計年度任用職員 2 人を雇用し競技会場地として受入準備等に努めた。

○SAGA2024鹿島市実行委員会総会

事業名	体育施設管理事業			所管課	教育委員会　生涯学習課　スポーツ係		
				費　目	体育施設管理費		
事業費（千円）	179,022	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
				38,395		48,904	91,723

事業内容

市民にスポーツができる場所を提供し、市民が安全にスポーツを楽しめるように施設の維持管理・修繕等に努め、市内体育施設においては、市民武道館と林業体育館の屋根防水改修、台風により損傷した B&G 海洋センタープールの屋根改修などを実施した。また、SAGA2024に向けた施設改修として、市民球場のフェンス防護マット、スコアボードの改修を行った。

○事業内訳

No.	事　業　名	事業費（千円）	事　業　概　要
1	体育館及び広場管理事業	19,785	・各体育施設管理等業務委託　3,212 千円 ・B&G 海洋センタープール屋根改修工事　2,123 千円 ・市民武道館・林業体育館屋根改修工事　7,700 千円 ・ＡＥＤ装置購入　1,254 千円 ・修繕料、光熱水費ほか　5,496 千円
2	七浦海浜スポーツ公園管理事業	3,917	・施設管理等業務委託　2,257 千円 ・光熱水費、保険料ほか　1,660 千円
3	北公園テニスコート施設管理事業	7,096	・施設管理等業務委託　5,770 千円 ・光熱水費、検査手数料ほか　1,326 千円
4	体育施設管理作業事業	2,402	・作業員報酬ほか
5	林業体育館管理事業	896	・施設管理等業務委託　598 千円 ・光熱水費、検査手数料ほか　298 千円
6	蟻尾山公園管理事業	144,926	・指定管理委託　50,959 千円 ・フェンス防護マット・スコアボードほか改修工事　89,762 千円 ・修繕料、消耗品費ほか　4,205 千円

○市民球場スコアボード改修

○B&G 海洋センタープール屋根改修

事業名	学校給食運営事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校給食センター		
				費　目	学校給食費		
事業費（千円）	104,843	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
							104,843

○事業内容

令和３年度の鹿島市学校給食については、コロナ禍においても学校給食には、児童生徒の心身の健やかな発達を支えるため、安全・安心でおいしい給食を提供することが求められており、簡易給食や配膳が少ない給食などの対応を行うことなく、通常どおりの給食を小学校 196 日、中学校 198 日実施することができた。

（1 日当たり平均：小学校８校 1,563 食　中学校２校 759 食 、学校職員ほか 274 食　 計 2,596 食）

平成２６年度から調理・配送部門を民間委託に移行しており、令和２年度からは３期目（令和２年度から４年度）に入り引き続き同じ業者に委託し、安全・安心でおいしい給食の安定供給はもとより、事業の効率化を図ってきた。この間、大きな事故等の発生も無く運営を行うことができている。なお、献立の作成、給食物資の調達・検査業務、調理の指示はこれまでどおり市で対応している。

現給食センターは、昭和61年の建設から35年以上が経過しており老朽化が進んでいる。施設・設備については、計画的に改修や更新を行いながら、給食を提供しているが、修繕費用は増加傾向にある。一般的に給食調理場施設の耐用年数は20～30年、調理器具等の耐用年数は10年から15年とされており、同センターは昭和61年に稼働していることから更新が必要な時期となっている。特に、センターの調理施設はドライ運用であり、衛生面や労働環境からもドライシステムの導入が強く求められている。

主な事業費　・学校給食センター調理等業務委託（第３期）　６７，６５０千円
　　・食器洗浄機テンキーシステム交換　　３，０２５千円

○主要施策

・豊かでバランスのとれた学校給食や食育を含めた健康教育と体力づくりの一層の充実に努める。
・学校給食における地産地消の推進と施設設備の維持、改善を行う。

○成　果

新鮮な旬の食材を多く取り入れ、行事食や各学校のアンコール給食等によりおいしい給食を提供し、食への関心が高められた。

また、コロナ禍においても、栄養士を中心とした食育授業・指導等により、子どもたちが自らの食生活を振り返り、食に関する知識を深め、正しい食事の摂り方や望ましい食習慣の形成が図られた。

○食器洗浄機テンキーシステム交換

○アンコール給食